

## 学術会議に関する報告

---

天文学会会員のみなさま

日本天文学会秋季年会（於：東北大学）時に開催された代議員総会（2013年9月11日）において、若手研究者の就職に関して以下のような意見がありました。

「博士号を取得した大学院生のアカデミックポストへの就職状況が厳しくなっており、また職も昔と比べて多様化している。そのため、若手のキャリアサポートを天文学会として考える必要がある。まず、学会として学位取得者の就職状況の追跡調査を行うべきではないか。」

これに関連して、2010年に日本学術会議物理学委員会天文学・宇宙物理学分科会がまとめた「記録」に、10年間の調査結果があるとの指摘がありました。この「記録」は「天文学・宇宙物理学の展望と長期計画」をまとめたもので、就職状況の調査結果だけでなく全体を、広く会員に見ていただくのが良いということになりました。

これを受けて、日本天文学会のホームページからもこの「記録」がたどれるようにしました。以下のリンクからご覧ください。就職状況の調査結果は、「第5章 天文学・宇宙物理学の長期的発展のために」に掲載されています。

学術会議記録： [「天文学・宇宙物理学の展望と長期計画（日本学術会議物理学委員会天文学・宇宙物理学分科会）」](#)

---

[トップページに戻る](#)